太陽光発電システム用接続箱
取扱・取付施工説明書

型式：KTN-CBS4C-※

※R及びR12C

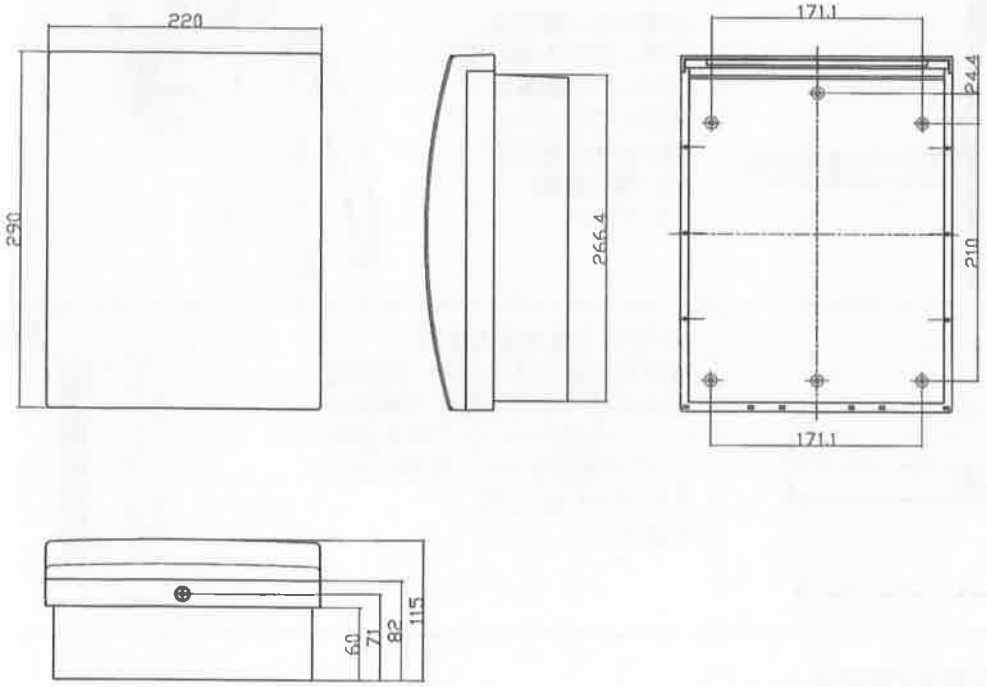
取付工事を始める前に必ずこの取付施工説明書をお読みになり工事後は説明書を大切に保管して下さい。
取付工事は第2種電気工事士の資格が必要となります。

⚠ 警　告	作業を誤った場合に、取付作業者または使用者が死亡や重症を負う可能性があります。
アース線の設置は必ず行って下さい。感電の恐れがあります。	
低圧用ゴム手袋を使用して配線作業を行って下さい。感電の恐れがあります。	
工事業者以外はカバーを開けないで下さい。感電の恐れがあります。	
電源を入れた状態で分解したり、内部に触ったりしないで下さい。感電の恐れがあります。	
特に手や体が濡れた状態での作業は行わないで下さい。感電の恐れがあります。	
接続箱が濡れている状態で蓋を開けないで下さい。感電の恐れがあります。	
配線工事中及び運転開始までは、接続箱の全ての開閉器を[OFF]の状態にして下さい。感電の恐れがあります。	
太陽電池アレイの＋ケーブルと－ケーブルの導電部をショートさせないで下さい。感電の恐れがあります。	
電線は適正な端子を正しく圧着し、指定トルク（2N・m）で確実にネジを締め付けて下さい。	
接続箱の上に物を載せたり、乗ったり、ぶら下がったりしないで下さい。	

⚠ 注　意	作業を誤った場合に、取付工事作業者または使用者が傷害、または家屋・家財及び接続箱などの損傷の可能性があります。
電線挿入用の配線穴、接続箱設置用の穴等には、水の浸入を防止する処理を施して下さい。	
設置する壁や柱は、製品の4倍以上の自重に耐える強度を確保して下さい。製品重量(1．8kg)	
ネジ部は、指定値を超えるトルクで締め付けないで下さい。破損の恐れがあります。	
配線部の締め付けは、インパクトドライバー等の締め付けトルクが管理できない電動工具を用いないで下さい。（手締めトルクドライバー推奨）	
端子接続部をネジ止めする際はドライバーを垂直に当て、ネジを回して下さい。	
蓋を開けた状態で使用しないで下さい。	
配線用の穴をあける場合は、以下のことを守って下さい。	
・配線穴の径は、φ34mm以下として下さい。	
・配線穴は壁面取付け前にあけて下さい。壁面取付け後に、配線穴はあけないで下さい。	
・穴あけ作業による切子が接続箱筐体内に残らないようにして下さい。	
・製品の性能に影響を及ぼさないこと。特に、防水性や強度にご注意下さい。	
・あけた穴より筐体内部に水が入らないように防水処理を行って下さい。	

「注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く恐れがあります。いずれも必ず守って下さい。

外形寸法図



付属部品	個数
2sq用圧着板端子（アレイ側）	8個
2sq用絶縁キャップ（アレイ側）	8個
3.5sq用圧着板端子（アレイ側）	8個
3.5sq用絶縁キャップ（アレイ側）	8個
8sq用圧着丸端子（パワコン側）	2個
8sq用絶縁キャップ（パワコン側）	2個
5.5sq用圧着丸端子（アース側）	2個
5.5sq用絶縁キャップ（アース側）	2個
M4×25タッピングビス	8個
保護カバー（開閉器入力部）	4個

屋外に設置する場合は、配線穴に適した防水コネクターを、屋内に設置する場合は、配線穴に適したグロメットをご用意下さい。

取付方法

動作環境、条件

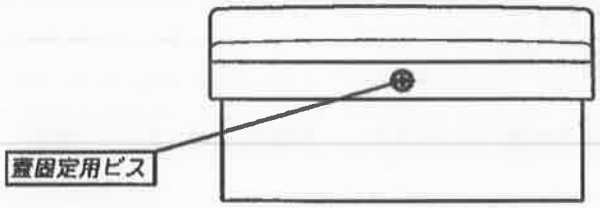
動作不良の原因となりますので設置場所については下記の条件を守って下さい。

- ●室内・屋外兼用ですが、直射日光が当たらないこと。
- ●周囲温度が－20℃～50℃を超えないこと。
- ●標高が2000mを超えないこと。
- ●海岸より飛散した海水が直接当たらない場所へ設置すること。
- ●筐体設置時は上部、下部、右部、左部に30cm、正面部に作業できる程度のスペースを確保すること。
  但し、周囲に熱源が無く、周囲温度を50℃以下にキープできる場合は上部、下部、右部、左部のスペースは5cmまで縮小できる。
- ●以下の場所を避けること。
  - ・結露する場所（面）
  - ・振動および衝撃が加わる場所
  - ・油、薬品もしくは塩分が触れる場所
  - ・爆発性、可燃性、腐食性及び有毒ガスが存在する場所
  - ・極端に湿気が多い場所（85%RH以上）少ない場所（25%RH以下）
  - ・安易に人が手を触れる場所

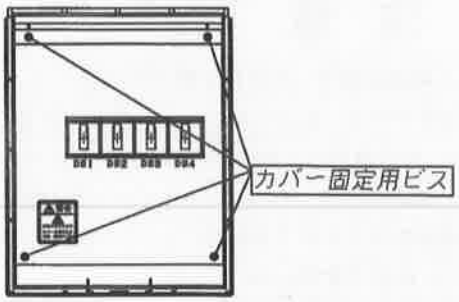
⚠ 警　告	電線は適正な端子を正しく圧着し、指定トルク（2N・m）で確実にネジを締め付けて下さい。（手締トルクドライバー推奨） 締め付け、圧着が不完全な場合、接触不良により火災の恐れがあります。

設置

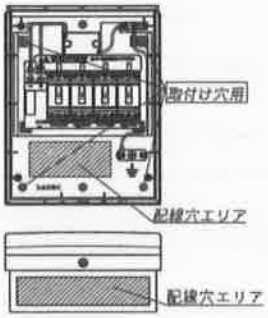
①蓋と本体を固定しているネジを取り外し、蓋を開ける。



②開閉器をOFFにした後、カバーを外す。

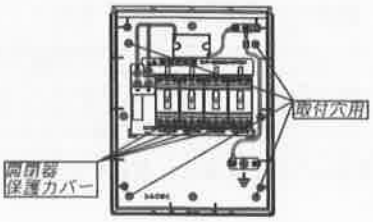


③取付け位置を決め、取付け穴とホルソー等で配線穴をあける。



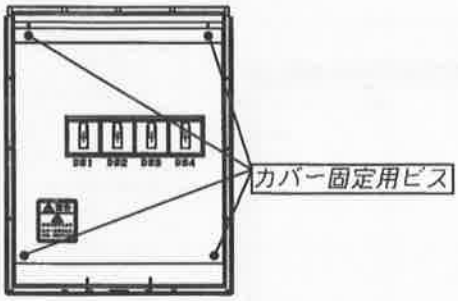
④固定用穴4箇所をネジ止めし、本体が容易に外れないように固定する。

・開閉器入力部を配線後、付属の保護カバーを取付けて下さい。



⑤カバーを0.5N・m～1.1N・mの範囲で締め付けて下さい。

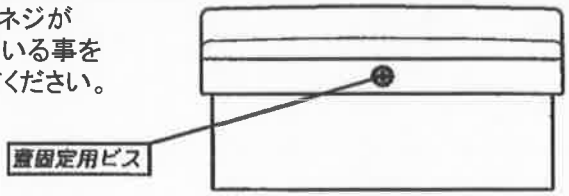
※カバー固定用ビス
タッピング
M4×10
三価クロム



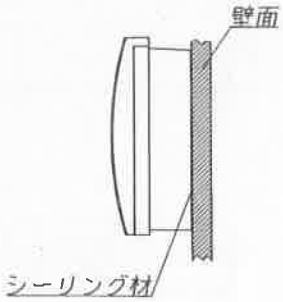
⑥蓋を取り付ける。
本体、蓋の引掛け部に掛かっている事を確認してください。
蓋と本体に隙間が無い事を確認して下さい。

⑦蓋固定用ビスを0.1～0.5N・mの範囲

きちんとネジが締まっている事を確認してください。



⑧（屋外で使用する場合）
接続箱を取り付けた後、接続箱と壁面の接する上部および側部に、シリコーン系シーリング材を塗布し、防水処理を行い、背面に水が入らないようにして下さい。



※配線方法と仕様については蓋の裏側の銘板をご覧下さい。
取扱・取付施工説明書の内容に関しては、予告無く変更する場合があります。